

～山を育てる・人を育てる～

菊池林業

菊池俊一郎 さん（西予市）

1972年8月17日生まれ

三瓶町林業研究グループ会長

西予市林業研究グループ副会長

愛媛県林研グループ連絡協議会青年会議 議長



【経営概況】

所有山林 28ha、みかん畑 2ha の計30haを経営
今後は、所有山林、みかん畑も徐々に拡大していく予定

【林業をされていて喜びを感じる時】

■林業指導をしているとき

林業の「業」を行っている時より、**ひとに林業を教える時**に喜びを感じます。
最近では、西予市三瓶町の幼稚園や小学校、中学校の森林・林業教室にも力を入れております。
特に中学校での林業教室は、実際に丸太を鋸で切ってもらったり、百足梯子に登ったり、座学では感じられない部分を学べる内容となっています。多感な中学生時代の林業体験が、地元の山を気にかけるきっかけになればという思いで行っています。



三瓶中学校2年生対象の森林教室



三瓶幼稚園の園児対象の木工教室



林業を語る座談会



実際に山での作業中のようす

また、専用のロープや安全保護具を利用して木に登る「ツリークライミング」の普及指導にも力をいれており、昨年は八西林業研究グループ主催の親子木工広場や、県主催の研修会などでも披露しました。

住宅が密集している場所や寺社仏閣周辺などで行う特殊伐採の現場でもツリークライミングを利用しています。

みなさんもぜひ体験してみてください！

木の上は気持ちいいですよ！



【普段の生活について】

■労働時間は決めていない



労働時間は決めていません。林業を行う際は、**時間を決めるという考えではなく、いくら分、材が出せたら作業を終えよう**という考えで仕事をしています。

また、みかん畑も所有しているため、収穫が忙しい時などは、そちらに専念しています。

【これからの夢や目指すもの】

■あと100年くらい生きたい！

あと100年くらい生きて、今行っている作業や、指導の結果を見てみたい。

・・・というのは無理だとは思いますが、自分の子供や孫の世代になった時に、結果が残るような活動を行いたい。

■不安もある

若いときは体は動くけど経験不足、今は経験も体力もベストな時だが、このベストがいつまで続くか心配。このベストな時が持続するように努めたい。

【ひとことメッセージ】

■なんとかなる！

難しく考えている方も居るとは思いますが、**なんとかなります！！**

一次産業の経営が厳しくなってきたのは、経営力と技術力の両方を兼ね備えている人が必要になってきたから。真剣に勉強して、研究しようとする心があれば、なんとかなります！